



携帯電話での119番通報時には、GPS機能をON!

近年、スマートフォンの普及に伴い携帯電話での119番通報が増加する傾向にあります。

携帯電話での通報時にGPS機能がOFFのままだと、通報者の位置が正確ではなく大きな誤差が生じてしまいます。GPS機能をONにすることにより正確な位置を示し、場所特定が短縮するため、救急要請時では早期に傷病者の状態を聴取することができます。

発信位置情報通知システムとは？

当消防本部の消防指令システムには、発信位置情報通知システムという機能があり、携帯電話での119番通報を受信した際、通報者の位置を地図画面に表示することができます。



例：羽咋消防本部で通報した場合

●：GPS機能ONの場合

誤差は数十メートル以下で通報者の場所を特定することができます。

●：GPS機能OFFの場合

誤差は数百メートルから数キロメートルで通報者の場所を特定することになり、場所特定に時間を要す場合があります。

～正確な災害場所を伝えましょう～

119番通報された場合、救急車や消防車が向かう場所はどこか？聞きますので、正確な場所を伝えて下さい。



119番消防です。火事ですか？救急ですか？

救急です。

救急車が向かう場所はどこですか？



市町名や世帯主名を伝える→

例1) ○○市○○町○○宅です。

周辺の目標物等を伝える→

例2) ○○町の○○交差点です。

走行方向や地点を伝える→

例3) のと里山海道下り線○○キロポストです。

○○インターから七尾方面に進んでます。

※山地などで場所を伝えることが困難な場合、アプリでの緯度経度を調べるなど、分かる情報をお伝え下さい。

